

# 江の川鐵道のその後

～関係人口の拡大と

かかわりしろの深化～

NPO法人江の川鐵道事務局 森田一平

2022/2/15

邑南町(羽須美地域)での新しい取り組み

# 「はすみファンと創る地域」事業

2018年度、総務省  
「関係人口創出事業」  
モデル事業に採択

人口減少の中で、地域の担い手が不足。  
地域外に住みながら、地域に関わる  
「関係人口」を迎え、共に地域再生に挑戦。

## 旧三江線の廃線跡地の活用



鉄道資産を活用した  
実証実験の実施には  
多くのマンパワーと知  
恵が必要。

プロジェクト1「廃線跡の活用」  
廃線跡地を活かした観光で  
賑わいを創出できるか？

## 旧三江線跡地の活用プロジェクト

### 「鉄道ファン」を関係人口として迎え入れ



地域住民と関係人口の協働で賑わい創出

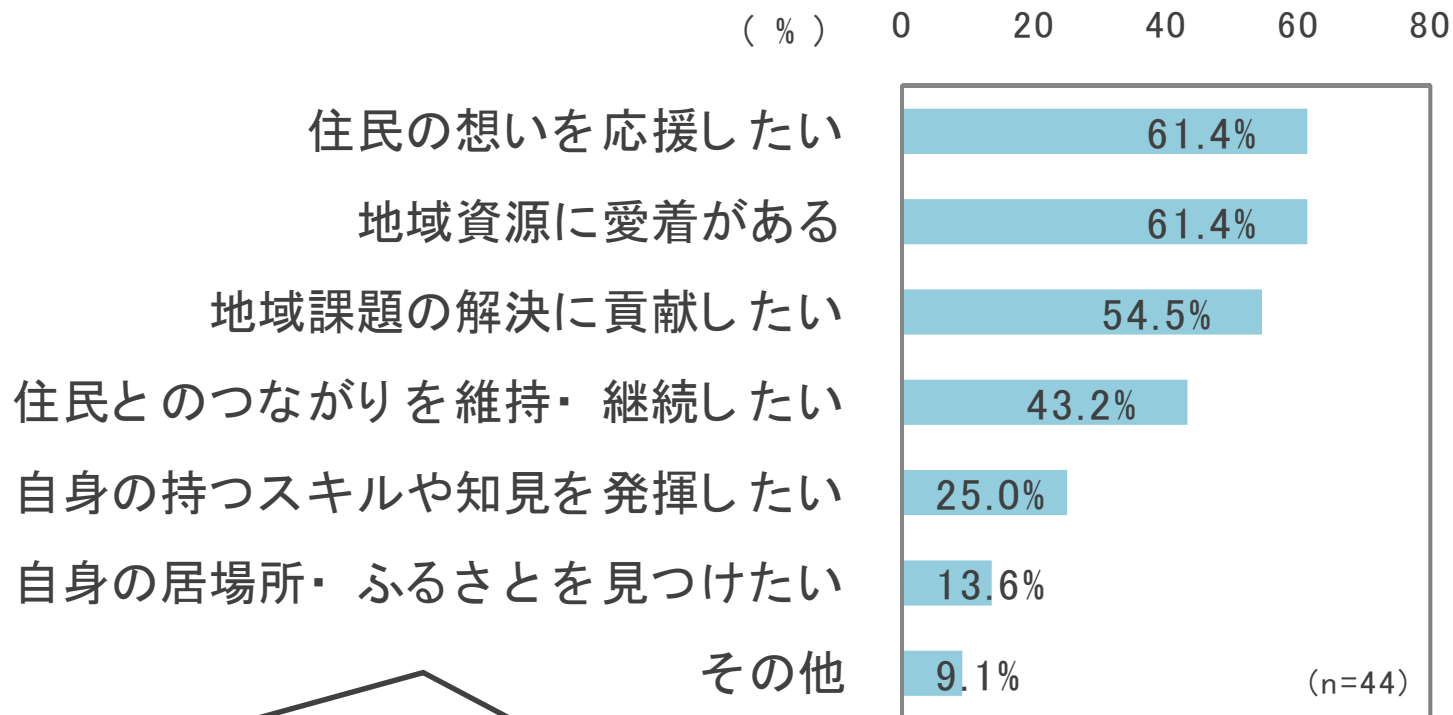
## 2つのプロジェクトにおける関係人口の創出(3ヶ月の実証)

- ・トロッコ運行に15日間で関係人口がのべ103人協働活動
- ・広島、島根両県の町外から鉄道ファンらが支援に駆けつける



## 羽須美地域（三江線）に関わる動機の確認

（協働活動参加者アンケート調査より）



課題設定（廃線活用）× 関心層（鉄道ファン）= 関係人口との協働で楽しみながら地域再生

## 2019年度以降の展開①関係人口の増加→観光客の増加

- ・高齢化の進展の中、観光事業拡大を持続的に実現
- ・訪れた観光客から、関係人口に加わる人も出現

### 地元コアメンバー(10人)

関係人口に支えられて  
高齢化の中で活動拡大

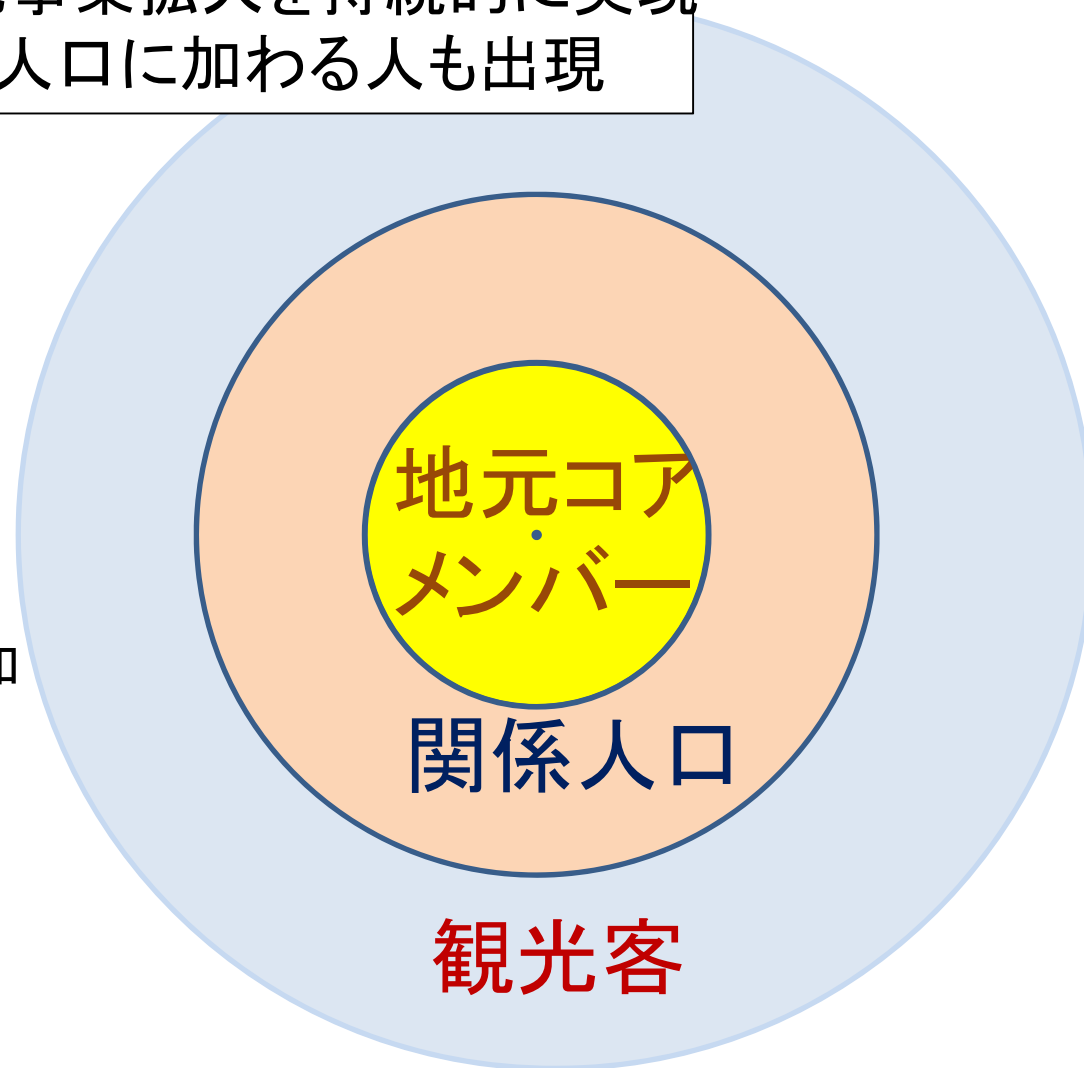
### 関係人口

活躍の場が拡大、頻度増加  
現地支援型(15人→35人)  
※22年度は20日延べ95人参加  
会員数(15人→120人)  
ふるさと納税(300人)

### 観光客

関係人口と共に過疎地から  
起こす逆転の物語に共感  
年間 2018年 500人→2021年 2000人

※20、21年度はコロナで予定運行日数削減



## 2019年度以降の展開②事業の継続でトロッコも進化

- ・乗車料金や寄付、会費等でトロッコ型車両2台を新造
- ・性能向上 2018年定員3人→2020年6人→2021年パワーアップ



2018年  
初代トロッコ  
(乗客3人)



2019~2020年  
2代目「チモハ」号木製  
トロッコを連結(定員6人)



2021年  
2号車が完成し、連結及び総括制御が  
可能になり、パワーが2倍に！





## 2019年度以降の展開③事業拡大に伴い行政等の支援も拡大

- ・ 邑南町、三次市、JR西日本の協力で鉄橋の活用開始(2021年～)
- ・ 集客力の向上で、収支が改善。マスコミ露出増え知名度も上がる



## 2019年度以降の展開④資金調達力の向上

- ・知名度が上がり、ふるさと納税型CFで 300人から800万円調達
- ・内訳は、会員+町民、関係人口+乗車経験者+鉄道ファン+出身者
- ・支援の輪の広がりで、乗車定員は6人から20人へ(2022年秋予定)

ふるさとチョイス  
ガバメントクラウドファンディング®

プロジェクトをさがす

応募寄付総額 11,257,480,191 円

ふるさと納税ガイド

お気に入り 寄付する

プロジェクトをさがす 応援メッセージ GCF®とは ふるさとチョイス 災害支援

TOP > 過去実績 > 「天空の駅」を発着するレトロなトロッコで、廃線を乗り越えて賑わいを取り戻したい!

「天空の駅」を発着するレトロなトロッコで、廃線を乗り越えて賑わいを取り戻したい!

カテゴリ: まちづくり

達成!

寄付金額 8,166,000円

102%

目標金額: 8,000,000円

達成率	支援人数	終了まで
102%	340人	受付終了

📍 島根県邑南町 (しまねけん おおなんちょう)

♡ お気に入り

このプロジェクトは終了しました

ツイート いいね! シェア

## 2019年度以降の展開⑤活動の深まりと地域への広がり

- ・鉄道資産の保全活動など、地道な作業にも関係人口が参加
- ・遺産活用へ専門家集団の支援、助言（島根県技術士会）
- ・鉄道以外の地域の活動にも、江の川鐵道の関係人口が参加



地域と関係人口が喜びを共有し、  
地域も関係人口も元気になれる！

ご清聴ありがとうございました